

市民協働事業 親子ヨガ教室

ストーリーに合わせて親子でヨガポーズ！

日程 3月15日(日)

時間 ①午前10時～11時
(9時50分受付開始)
②11時30分～午後零時30分(11時20分受付開始)

会場 東青梅市民センター和室

対象 市内在住の5歳～小学3年生の親子

講師 J Y I A (一)

共催 ボランティア団体 ままにこ(一) <http://mamanicotto.jim>

費用 1組500円

服装・持ち物 動きやすい服装、飲み物、タオル

定員 先着15人(予約制)

申し込み 電話 ☎24・8110 東青梅市民センターへ



申し込み 電話 ☎24・8110 東青梅市民センターへ

親子釣り・塩焼き体験

青梅市観光協会では、半年前に台風19号の被害を受けた御岳渓谷の早期復旧のアピールも兼ねて、奥多摩フィッシングセンターで、親子向けの釣り・塩焼き体験イベントを実施します。

対象 小学生以上の親子・2人1組

※初心者向け
※父母の代わりに祖父母も可

内容 ニジマス釣りに挑戦

※釣りざおは1組1本

※ニジマスは1組5匹
(その場で食べるほか、持ち帰りも可)

定員 先着20組(予約制)

※最小催行人員5組

費用 1組2千円(釣りがお1本、ニジマス5匹の代金を含む)

※別途エサ代(イクラ500円、ブドウムシ600円)

※ニジマス6匹からは1匹30円で購入可

持ち物 クーラーボックス(ニジマス持ち帰り用)

※売店で購入可

その他 おむすび1人1個用意あり



親子釣りの様子

河辺なかよし子ども食堂 春の部

日時 3月1日、15日、29日の日曜日 午後3時～5時30分ごろ

会場 河辺市民センター

対象 市内在住・在学の子小学生

定員 先着15人(予約制)

費用 1回100円

後援 市、市教育委員会、ことがわら学園

申し込み 住所、氏名、電話番号、学年を記入し、ファックス ☎24・1162 またはハガキ

16ミリ発声映写機操作講習会

16ミリ発声映写機は、技術を習得して、家庭や地域、職場などで映写会を開いてみませんか。

日時 3月12日(木) 午後6時30分～8時

会場 市役所2階会議室

対象 市内在住・在勤・在学で16歳以上の方

定員 先着15人(予約制)

費用無料

持ち物 顔写真2枚(2.5cm×2.5cm)、筆記用具

申し込み 住所、氏名、年齢、電話番号、職業を電話、ファックス ☎22・9835 または直接社会教育課へ



16ミリ発声映写機

中央図書館ハンディキャップサービス

新着点字図書・デージー図書 問い合わせ 中央図書館 ☎22・6543

点字図書

点字図書は、図書館の利用者カードをお持ちの方は、どなたでも利用できます。

中央図書館で所蔵していない点字図書も、全国の点字図書館などから取り寄せることが出来ます。

▽「わたしの空と五・七五」 森楚こみち著(全2巻)

▽「トロイメライ」村山早紀著(全1巻)

▽「一〇五度」佐藤まどか著(全3巻)

デージー図書

デージー図書は、活字を音声にした録音図書で、視覚障害者の方で図書館の利用者カードをお持ちの方が利用できます。

また、中央図書館で所蔵

▽「親不孝長屋」池波正太郎 ほか著

▽「青梅かるた」青梅青年会議所、84社会開発委員会編

▽「極夜行」角幡唯介著

▽「10代に語る平成史」後藤謙次著

東京都指定有形民俗文化財 旧稲葉家住宅土蔵内部の特別公開

日程 2月22日(土)、23日(祝)、24日(振休)

時間 午前10時～午後4時

会場 旧稲葉家住宅土蔵

特別公開は1階のみ

入場無料 直接会場へ問い合わせ 郷土博物館 ☎23・6859

吉野音頭

青梅市の文化遺産38

市文化財保護指導員 小島みどり

一 多摩の月ヶ瀬白梅咲いて 唄う鶯 あげひばり さあさ来て みな寄ってみな 吉野音頭でひとおどり

二 花の吉野は遠くと聞けど 梅の吉野はわしが里

三 西は御嶽東は青梅一の鳥居は 村境

四 畑しまつてひと浴びしゃんせ 色は水晶のたまの水

五 あの花よい娘だ気立てもよいが 機を織るのも うで達者

六 みがき丸太はわしらが山に 鮎とわさびは この溪に

吉野音頭は、昭和27年に吉川英治が作詞・監修した青梅の民謡です。吉川英治は、昭和19年から9年間、旧吉野村(柚木町)に住み、村の人々や自然をこよなく愛し、地元の文化財保護指導員 小島みどり

元のために貢献したいと願い、民謡を作ることにしました。村民から募集した歌詞を監修し、自然豊かな梅の名所、機織りや林業で栄える吉野村の魅力がたくさん詰まった歌詞に仕上げました。

作曲は、昭和を代表する作曲家の米山正夫が担当しました。当時、米山正夫と親交のあった歌手の青木光一が吉野村に来て、吉野音頭を歌ったこともあったという事です。吉野音頭は、振り付けもされ、盆踊りや小学校の運動会で盛んに踊られていました。

吉川英治は「折々の記」で「吉野村は好きだし、村人たちが愛すべき人々だった。(中略)吉野音頭もできたりして、梅の吉野は年々人出をましてゐる」と著しています。

ところが、吉野村が青梅市に合併されると、吉野音頭はしだいに歌われなくなり、レコード化されていなくなったために、盆踊りの選曲からも外されてしまいました。

平成22年に地元の方がガリ版刷りの歌詞と楽譜を発見し、大変苦労してCDを作りました。踊りも、数少ない体験者を探して、復活させることに成功しました。30年にはDVDも作られ、現在では地区の盆踊りや梅まつりで踊られています。吉野音頭は、「誰も歌えない、踊れない」を免れた、貴重な民謡です。

吉野音頭のCD、DVDは、中央図書館で貸し出されています。

問い合わせ 郷土博物館 ☎23・6859



吉野音頭の盆踊り

文化財住宅で雛人形を展示します

旧宮崎家・旧稲葉家・旧吉野家住宅での展示

日時 2月21日(金)～3月8日(日) 午前10時～午後4時

※月曜日は休館(2月24日は開館、25日は休館)

会場 旧宮崎家住宅(駒木町1-684)▽旧稲葉家住宅(森下町49)▽旧吉野家住宅(新町1-21-9)

福島家住宅での展示

日時 2月16日(日)、22日(土)～3月8日(日) 午前10時～午後3時

会場 福島家住宅(沢井2-72)

その他 羽子板、絵手紙の展示あり



雛人形の展示

入場無料 直接会場へ問い合わせ 郷土博物館 ☎23・6859